



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社
コード番号 3682 URL <http://www.et-x.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 進也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 川島 久男

TEL 03-5623-2622

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|------|------|-------|------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 741 | 23.2 | 274 | 59.3 | 276 | 60.3 | 182 | 54.5 |
| 27年3月期第2四半期 | 602 | 1.1 | 172 | △12.4 | 172 | △13.0 | 118 | △5.9 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 53.01 | 52.81 |
| 27年3月期第2四半期 | 36.00 | 34.28 |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 2,931 | 2,375 | 81.0 |
| 27年3月期 | 2,727 | 2,243 | 82.2 |

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 2,375百万円 27年3月期 2,243百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 19.00 | 19.00 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 19.00 | 19.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|-----|------|-----|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,538 | 12.4 | 499 | 9.8 | 500 | 8.6 | 329 | 3.4 | 95.17 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 28年3月期2Q | 3,462,100 株 | 27年3月期 | 3,387,100 株 |
| 28年3月期2Q | — 株 | 27年3月期 | — 株 |
| 28年3月期2Q | 3,449,805 株 | 27年3月期2Q | 3,287,100 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 4 |
| 4. 四半期財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第2四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、生産・輸出の減少、在庫の増加など製造業指標の停滞が続くなど中国や新興国経済の減速の影響を受けて弱含みに推移しました。一方、日銀短観(9月調査)では、業況判断は6月調査より悪化したものの、企業業績の好調を受けて大企業の設備投資は前回調査時より上方修正され、当社の主要顧客先である金融機関の今年度下期ソフトウェア投資についても前回調査から上方修正されました。

このような状況のもと当社は、製品開発では先に公表いたしましたクラウド事業者やデータセンター事業者向けの「ESS AdminGate AK (EAG AK)」に加えて仮想アプライアンス方式(注.1)で販売する「ESS AdminGate VA (EAG VA)」をリリースいたしました。「EAG VA」は、特権ID(注.2)の管理不備による情報漏えいやシステムトラブル等のリスクを低減する「特権ID&証跡管理製品」で、従来の製品と比較し、より小規模なシステムに対して簡易的な方法で対策を取りたいと考えるお客様に対して、例えば人事給与システムのマイナンバー対策としても有効なソリューションとなるものです。また、既存製品の統合と次世代対応製品の開発の一環として、国際大学グローバルコミュニケーションセンターと産学共同研究を行うとともに、既存製品の拡張・改良に努めました。

営業面においては、金融機関向けとして、日本金融通信社主催による「FITフォーラム」東京および大阪に出展し、公益財団法人金融情報システムセンター(FISC)の安全管理基準の強化改定によるシステム運用の変更対応への当社ソリューションの訴求を行いました。金融以外のお客様についても、SBクリエイティブ株式会社主催「セキュリティマネジメントカンファレンス2015」などのセッションに参加して、マイナンバー制度の実施に伴うセキュリティ対策の当社ソリューションをPRいたしました。また、協業化の取組につきましては、日本システムウェア株式会社(NSW)様のクラウドサービスで「ESS AdminGate (EAG)」を活用した内部不正対策サービスの提供を発表いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高は741,791千円(前年同期比23.2%増)となりました。ライセンス売上は、企業の情報漏洩対策の具体化が進んだこと等による新規及び追加案件の増加により、主力製品のESS RECが前年同期比33.2%の増加、その他ライセンスも同41.7%増加となり、ライセンス全体では同35.2%の増加となりました。保守サポートサービス売上は、新規ライセンス売上に伴う積上げと既存保守契約の更新維持により同19.5%増加いたしました。営業利益は、労務費・人件費と派遣社員受入増加に伴う外注費の増加がありましたが、経常経費が計画内での費消であったこと、売上高が上振れしたことにより274,213千円(前年同期比59.3%増)を確保しました。経常利益は276,205千円(前年同期比60.3%増)、四半期純利益は182,859千円(前年同期比54.5%増)となりました。

(注1) 仮想アプライアンス：ソフトウェアによって仮想的に構築されたコンピュータ(仮想マシン)の環境では、1台のコンピュータを複数の仮想マシンに分割することで、複数の利用者が同時に利用したり、異なるオペレーションシステム(OS)を並列に実行させることが出来ます。このような環境上で、目的のアプリケーションソフトウェアがすぐに使えるようあらかじめ構成しているソフトウェアのことをいいます。

(注2) 特権ID：システム運用管理においてプログラムの変更やデータベースの変更等で使用する高いアクセス権限を持つシステム管理者用のIDのことをいいます。

当第2四半期累計期間における区分別販売実績

| 区分の名称 | | 前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|----------------------|-------------------------|---|---|
| ライセンス (千円) | | 223,347 | 302,046 |
| | うちESS REC (REC) (千円) | 168,808 | 224,775 |
| | うちその他ライセンス (千円) | 54,539 | 77,271 |
| 保守サポートサービス (千円) | | 276,090 | 329,993 |
| コンサルティングサービス (千円) | | 38,462 | 53,786 |
| SIO常駐サービス (千円) | | 32,638 | 28,441 |
| その他 (千円) | | 31,462 | 27,522 |
| 合計 (千円) | | 602,002 | 741,791 |

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ203,989千円増加し、2,931,520千円(前事業年度末比7.5%増)となりました。主な増加科目は、現金及び預金の増加238,742千円、主な減少科目は、売掛金の減少42,082千円であります。

(負債)

負債合計は、前事業年度末に比べ71,333千円増加し、555,604千円(前事業年度末比14.7%増)となりました。主な増加科目は、前受金の増加121,407千円であります。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ132,655千円増加し、2,375,916千円(前事業年度末比5.9%増)となりました。主な増減科目は、当四半期純利益の計上182,859千円、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少64,354千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ161,257千円減少し、1,327,279千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間末において営業活動の結果得られた資金は343,453千円(前年同期比172,377千円増)となりました。主な収入要因は、税引前四半期純利益276,205千円、売掛金の減少額42,082千円、前受金の増加額121,407千円、主な支出要因は法人税等の支払96,960千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間末において投資活動の結果支出した資金は455,356千円(前年同期比422,836千円の支出増)となりました。主な支出要因は、定期預金の預入による支出400,000千円、有形固定資産、主に開発用サーバーの取得による支出7,011千円、無形固定資産、主に製品の拡張・改良にともなう市場販売目的ソフトウェアの取得による支出48,462千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間末において財務活動の結果支出した資金は49,354千円(前年同期比は48千円の支出増)となりました。収入要因は、株式の発行による収入15,000千円、支出要因は配当金の支払64,354千円によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月8日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合は、すみやかに開示を行います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,288,537 | 2,527,279 |
| 売掛金 | 199,306 | 157,223 |
| その他 | 38,024 | 35,263 |
| 流動資産合計 | 2,525,868 | 2,719,766 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 35,350 | 34,494 |
| 無形固定資産 | 39,703 | 49,771 |
| 投資その他の資産 | 126,609 | 127,488 |
| 固定資産合計 | 201,663 | 211,753 |
| 資産合計 | 2,727,531 | 2,931,520 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 8,677 | 12,609 |
| 未払法人税等 | 100,827 | 94,627 |
| 前受金 | 242,638 | 364,045 |
| その他 | 106,719 | 58,888 |
| 流動負債合計 | 458,862 | 530,171 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 25,407 | 25,432 |
| 固定負債合計 | 25,407 | 25,432 |
| 負債合計 | 484,270 | 555,604 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 499,886 | 507,386 |
| 資本剰余金 | 481,886 | 489,386 |
| 利益剰余金 | 1,261,360 | 1,379,864 |
| 株主資本合計 | 2,243,132 | 2,376,636 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 128 | △720 |
| 評価・換算差額等合計 | 128 | △720 |
| 純資産合計 | 2,243,260 | 2,375,916 |
| 負債純資産合計 | 2,727,531 | 2,931,520 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 602,002 | 741,791 |
| 売上原価 | 153,669 | 191,560 |
| 売上総利益 | 448,332 | 550,230 |
| 販売費及び一般管理費 | 276,213 | 276,016 |
| 営業利益 | 172,119 | 274,213 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 296 | 278 |
| 助成金収入 | — | 1,709 |
| 雑収入 | — | 10 |
| 営業外収益合計 | 296 | 1,999 |
| 営業外費用 | | |
| 雑損失 | 68 | 8 |
| 営業外費用合計 | 68 | 8 |
| 経常利益 | 172,347 | 276,205 |
| 税引前四半期純利益 | 172,347 | 276,205 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 55,825 | 89,112 |
| 法人税等調整額 | △1,825 | 4,233 |
| 法人税等合計 | 53,999 | 93,345 |
| 四半期純利益 | 118,347 | 182,859 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 172,347 | 276,205 |
| 減価償却費 | 44,653 | 44,482 |
| 受取利息及び受取配当金 | △296 | △278 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △10,926 | 42,082 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 7,407 | 3,932 |
| 未払金及び未払費用の増減額(△は減少) | 3,860 | △15,279 |
| 前受金の増減額(△は減少) | 51,196 | 121,407 |
| その他 | △1,899 | △32,299 |
| 小計 | 266,342 | 440,252 |
| 利息及び配当金の受取額 | 337 | 161 |
| 法人税等の支払額 | △95,604 | △96,960 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 171,075 | 343,453 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | — | △400,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △5,249 | △7,011 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △27,270 | △48,462 |
| その他 | — | 118 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △32,519 | △455,356 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 株式の発行による収入 | — | 15,000 |
| 配当金の支払額 | △49,306 | △64,354 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △49,306 | △49,354 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 89,249 | △161,257 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,389,575 | 1,488,537 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,478,824 | 1,327,279 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

当社は、パッケージソフトウェアの開発販売・保守サポートサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

当社は、パッケージソフトウェアの開発販売・保守サポートサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。